

愛知県文化施設活性化パイロット事業 実施結果

愛知県では、愛知芸術文化センター（以下、「芸文センター」という。）及び愛知県陶磁美術館（以下、「陶磁美術館」という。）の活性化に向けた施設・空間及び敷地の有効活用を図るため、2022年度に民間事業者に対して活用アイデアを募集したところ、具体的な参画意向を含んだ活用アイデアが複数提案され、そのアイデアを参考に、今後、本格実施に向けた具体的な検討を進めることにしました。

2023年度は、将来に向けた公民連携事業の構築や課題の整理、手法を検討するとともに、事業の集客力、収益性、利用者の反応、施設との相乗効果などを調査するため、民間事業者等を広く募集し、実際に現地で実験的にパイロット事業を実施しました。実施結果は以下のとおりです。

<芸文センター 長期パイロット事業>

アイチ オープン アート アトリエ

「AICHI OPEN ART ATELIER」(AOAA) 運営

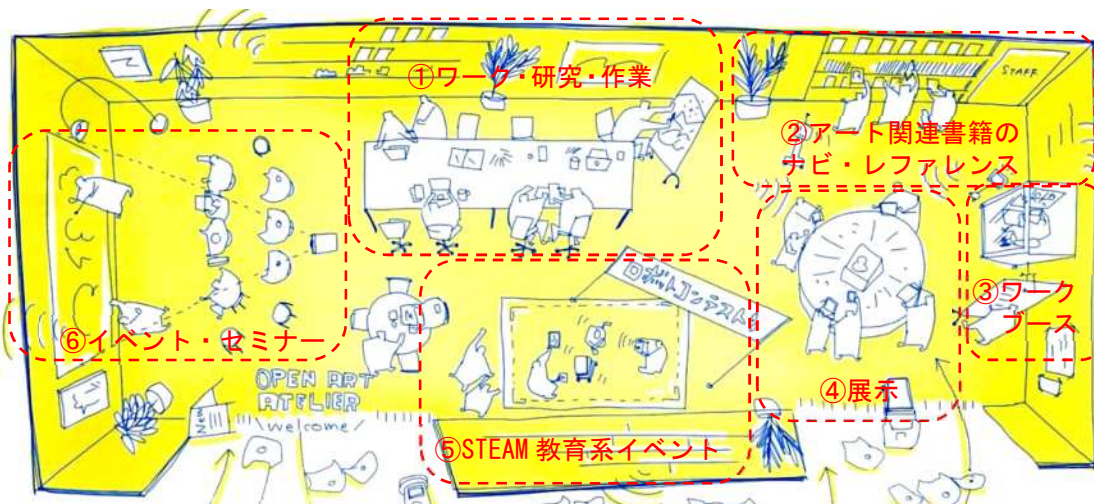
【企画概要】 アートに触れられるオープンアトリエとして多様なスペースやイベントを展開し、誰もが学び、創り、働くことのできるクリエイティブな空間を創設。芸文センターの新たな来館者層の開拓と交流の場づくりを目指し、様々な場の使い方の実践を通じ、来館者の利用状況を検証。

【実施事業者】 名古屋国際工科専門職大学、VIVITA JAPAN(株)、コクヨ(株)、(一社)学びの文庫
※4事業者の連携により運営

【実施場所】 旧アートショップスペース（地下2階） ※ワークブース設置：フォーラムⅡ（地下2階）

【実施期間】 2023年8月22日（火）～2024年2月29日（木） ※うちオープン日数：112日

【利用イメージ・実績】



①ワーク・研究・作業

- ・半個別ブースや可動式の20席が利用可能
- ・Wi-Fi環境を整備



②アート関連書籍のナビ・レファレンス

- ・300冊以上のアートに関連する書籍等を配架し、ナビゲート等を実施
- ・2/22～29にはアートブックや古本の販売を実施



③ワークブース

- ・電源、照明の設備あり
- ・オンライン会議や通話での利用が可能



④展示

- ・書き味の異なるノートへの試筆やアンケート回答・SNS フォローでノートをプレゼント
- ・既存の家具に木板を組み合わせた試作家具の展示、活用方法のアイデア募集



⑤STEAM 教育系イベント

- ・小学生向けにロボット等のプログラミング体験ができるイベントを3回開催(参加者:延べ24人)
- ・中、高校生を対象としたマーケティング入門のイベントを開催(参加者:11人)



⑥イベント・セミナー

- ・愛知県美術館の作品から発想を得た超短編小説を作成する連続講座を開催(参加者:14人)
- ・アートに関係するゲストと仕事について語るトークイベントを4回開催(参加者:延べ41人)
- ・その他、休日を中心に、アクリルパネルを再利用するワークショップや自由に参加できる謎解きイベント、日本文化の体験イベント、アートブック制作者のトークイベント等を開催



<芸文センター 短期パイロット事業>

アートカルチャーセンターIMA

【企画概要】アートに関連する展示や販売など、期間中に4つの展覧会を開催。

【実施事業者】(有)ワイズ・コーポレーション

【実施場所】旧レストランスペース(2階)

【実施期間】2023年11月3日(金・祝)~12月24日(日) ※うちオープン日数:28日

【実績】集客状況:合計1,424人



①現代写真アーティストの写真集や作品の展示・販売

②岡崎市のまちづくり紹介、市内の店舗や商品の展示・販売

③三河木綿やヴィンテージのリメイク商品の展示・販売

④県内クリエイターのオリジナル作品の展示・販売

PLAY DESIGN DAYS ―あそびとデザインの3日間―

【企画概要】デザイン性の高い遊具で子どもが自由に遊べるイベントの実施、ブロックでモザイクアートを作るワークショップの開催。

【実施事業者】 ㈱ジャクエツ

【実施場所】 ペDESTリアンデッキ（屋外）、旧レストラン前スペース（2階）、フォーラムⅡ（地下2階）

【実施期間】 2023年11月25日（土）～27日（月）

【実績】 集客状況：＜遊具＞合計215人 ＜ワークショップ＞合計120人



ろけコス

【企画概要】 芸文センター内のロケーションを活用した撮影やコスプレイヤー・カメラマンの交流を目的としたコスプレイベント。

【実施事業者】 (合同)ろけファン

【実施場所】 撮影スペース：屋外展示スペース（12階屋上）、展望回廊（11階）、回遊歩廊（10階）

※その他パイロット事業対象外のスペースも通常の申請により利用

物販スペース：旧レストラン前スペース（2階）

【実施期間】 2023年12月23日（土）、24日（日）

【実績】 集客状況：合計306人



<芸文センター パイロット事業の成果・民間事業者が感じた課題>

- ・来館者が気軽かつ自由に利用できる場のニーズがある。こうしたスペースの運営については、持続可能性を高める事業スキームの検討が課題となる。
- ・イベント参加者等の満足度は高いものの、集客力を高めるため、民間事業者と芸文センターが連携し、相互に広報できる体制を望む。
- ・芸文センターの既存プログラムとの連携は、芸文センターだからこそできる特色のある事業を企画できるため、民間事業者からの期待も高い。
- ・外からの人流の引き込みや来館者の施設内の回遊を向上させるには、館外・館内とも現状の案内では不十分であり、施設案内サインの充実等の整備が必要である。

<陶磁美術館 パイロット事業>

土と生きる ～ What' s the strata ～

【企画概要】一泊二日のアウトドアダイニングで、地元食材を使った「料理」・「ビール」と「陶磁器」をテーマに、文化を感じるイベントを実施。

【実施事業者】株NI-WA

【実施場所】屋外（本館—南館間の芝生スペース）

【実施期間】2023年6月10日（土）、11日（日）

※11日は雨天によりオープンイベントを中止し、一部のプログラムをクロードで実施

【実績】参加者：合計30人



わくわく体験フェス『瀬戸ネイチャープレイランド』～森・音・土と北欧の風～

【企画概要】自然、土、アート、音楽、北欧等をテーマにしたネイチャーイベント。瀬戸の自然の特徴でもある「森」や「土」をモチーフにした、美術館に馴染みのない親子連れも気軽に参加いただける各種イベントを実施。

【実施事業者】もりのね

【実施場所】屋外（本館—南館間の芝生スペース）

【実施期間】2023年6月18日（日）

【実績】参加者：約180人



<陶磁美術館 パイロット事業の成果・民間事業者が感じた課題>

- ・広大な敷地を活用し、「美術館で泊まる」「美術館で遊ぶ」といった民間事業者ならではの新たな着眼点で企画実施することで、陶磁美術館に馴染みのなかった新規来館者を呼び込むことができた。
- ・敷地全体のポテンシャルを生かした企画実施を通じて、来館者の滞在時間が増加することにより、展示作品の鑑賞や作陶体験などの既存機能との相乗効果による施設活性化が期待できる。
- ・地元の事業者やアーティストとの連携により、陶磁美術館だけでなく瀬戸エリアとしての盛り上がりにも期待できる。
- ・多様な利用シーンを想定し、イベント内容や天候などに応じた実施エリアの柔軟な対応や施設内サインの充実等の整備が必要である。